

5. 福島N3号とN4号の併用栽培

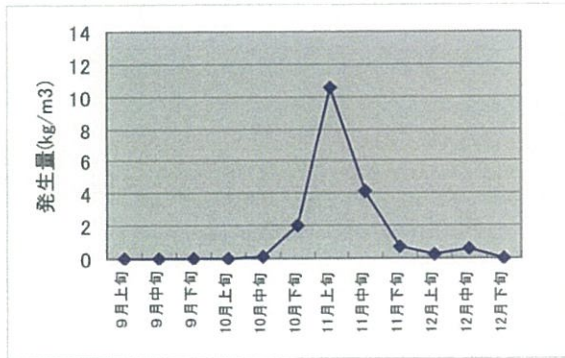


図-5 2品種の併用栽培モデル
(平成15年の郡山市での試験結果を複合)

○収穫期間の拡大と平準化

- ・ 10月中旬から12月中旬まで長期収穫
(栽培地域と気象条件により変動あり)
- ・ 直売所等での有利販売
- ・ 収穫労働の分散

○気象条件の危険分散

- ・ 降雨、積雪時期による収穫の影響軽減

○種コマのご注文は12月中に!

・ 予約販売ですので、

申し込みはお早めに御願います

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会

きのこ振興センター

福島県郡山市安積町成田字西島坂7-2

電話 : 024(947)2188

FAX : 024(947)6926

E.mail : fukukinoko@iaa.itkeeper.ne.jp

URL : www.fukurin-net.jp

ナメコ新品種

-福島N3・N4号-

登録品種

(公社) 福島県森林・林業・緑化協会

きのこ振興センター

電話: 024-947-2188

FAX: 024-947-6926

原木栽培用新品種

福島N3・N4号の特徴

1. 既存品種との違い

(1) コナラ原木で安定・多収量

ブナ原木の供給不足に対応するため県が開発した品種で、コナラでもブナと同等以上の高い収益性が確保できます。

(2) 食物繊維、ペクチン様物質が豊富

(3) 県内各地域で現地適応化試験実施

会津地方はもちろん、中通り、浜通りでも安定・多収量栽培が可能です。

2. こんな方にお勧め

○会津地方

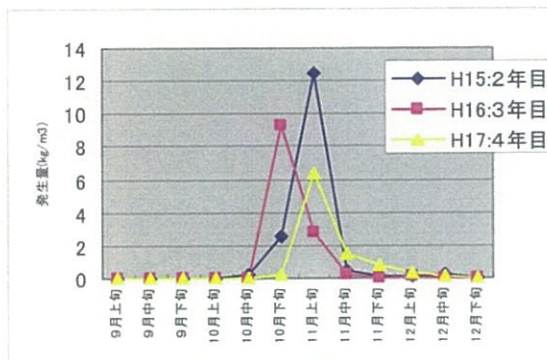
- ・ブナ原木の入手難で栽培の継続が困難な方。
- ・コナラ原木による既存品種の収量に満足いただけない方。
- ・年々収量が低下していると感じている方。

○中通り、浜通り地方

- ・コナラ等の雑木の入手が容易な方。
- ・自宅の近隣に利用可能な林床がある方。
- ・稲作の苗作り前と収穫後に労力が確保できる方。
- ・直売所の品揃えを増やしたい方。
- ・きのこの加工品を検討している方。

3. 収穫時期と子実体の特徴

(1) 福島N3号



図一 福島N3号の子実体発生パターン
(郡山市安積町における試験結果)

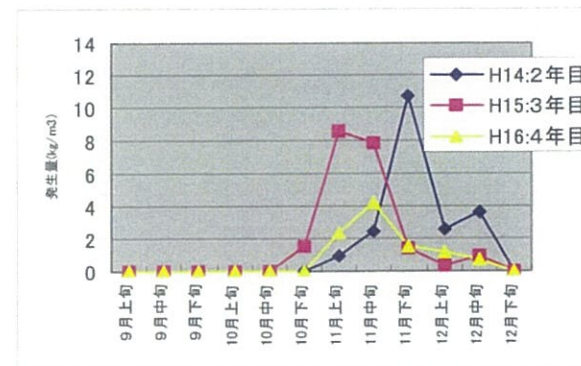
- 10月中旬～11月上旬にやや集中的に発生します。



図二 福島N3号の子実体

- 子実体はやや小振りで、膜切れが遅く縁が切れにくいため、加工用に適します。

(2) 福島N4号



図三 福島N4号の子実体発生パターン
(郡山市安積町における試験結果)

- 11月上旬～12月中旬に比較的長期間にわたり発生します。



図四 福島N4号の子実体

- 子実体は、膜切れが遅く縁が切れにくく、大形なため直売所での生販売に適します。

きのご種菌のご予約は12月までに

(公社)福島県森林・林業・緑化協会 きのご振興センター

TEL 024-947-2188

FAX 024-947-6926